

## 保育園からはじまる地域交流

夏休み期間中の「ボランティア体験プログラム」の3回目として、東大阪市内にある木の実保育園にて、第3班の4名がボランティアを行ってきました。木の実保育園では、毎年、園児とその家族、および地域の皆さんによる夏祭りをを行い、地域内での交流の活性化に取り組んでいます。

今回、4名の学生は、ポン菓子作り、かき氷、ゲームコーナーなどの夜店のお手伝い、祭り後の後片付けを行いました。普段、入ることのない保育園でのお祭りに戸惑うこともありましたが、保育士の皆さんからご指導いただき、無事に終えることができました。木の実保育園の皆さま、ありがとうございました。



### 参加した学生の声

このお祭りでは、地域の方々が、自分の子供や孫の為にボランティアで活動していると同時に、地域住民同士の交流の場になっており、貴重な活動だと思いました。園児の保護者の方々が地元の話や何故ボランティア活動をしているのかなどを私たちに話してくださいました。高齢者のボランティアも活動されており、世代を超えた交流が促進されていました。祭りの雰囲気はとて良く、地域の結束の良さを感じました。園児達が楽しそうに走り回っている姿を見て、ほのぼのとした気分になってもらい、とても充実した時間を過ごさせてもらいました。

現在私たち3班が活動させてもらっているボランティア団体の課題として、若い世代のメンバーが少ないことがあげられています。その課題を踏まえた上で、何か繋がりのあることを取り上げ、様々な世代の人が活動するとても良い見本を見せてもらえてよかったです。

【第3班 岡崎航・藤田仁也朱・細川工・宮崎大輔】